

しまね和牛生産振興事業 生産構造転換対策

(肉用牛生産転換対策)

【令和7年度予算 6,000千円】

1 目的

県内の肉用牛生産は、高齢の小規模繁殖経営が多く、10年後には子牛の生産基盤が維持できなくなる懸念から、繁殖専業農家が生産を支える体制へ構造転換を図る必要がある。

一方、県内の酪農経営は資材高騰や人手不足の影響で、新規自営就農や家族経営の規模拡大は見込まれない状況にある。今後、経営基盤を継続させるためには、乳牛と比較して高価格で取引される和子牛の生産を行うことが効果的である。

こうした状況の中、肉用牛の中核的な経営体の育成を図る手法として、酪農経営体への和牛繁殖部門の導入を支援する。

2 事業内容

酪農経営体が和牛繁殖部門を導入するために必要な牛舎等施設を改修する費用を助成する。

(1) 取組主体

県内酪農経営体（新たに和牛部門を導入する経営体）

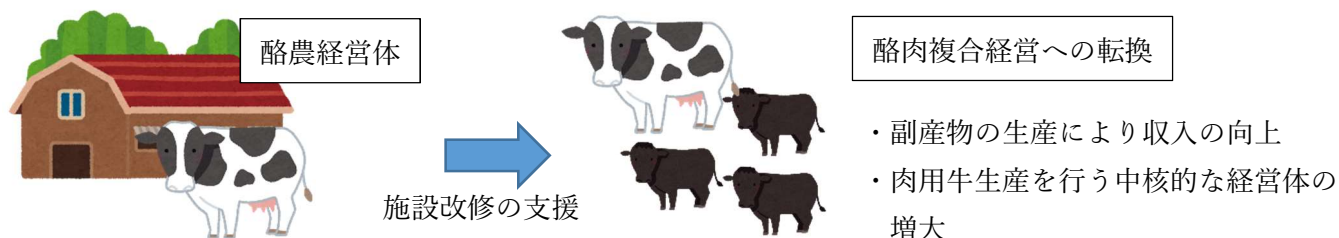
(2) 補助対象経費

和子牛生産に必要な施設の改修に要する経費

(3) 補助率

1/3 以内(上限 3,000 千円/件)

<イメージ>



3 予算額

6,000 千円